



学校教育目標
自分や相手を大切にし、
考えて行動する名瀬っ子

名瀬小だより

12月号

令和5年11月30日
横浜市立名瀬小学校
校長 中嶋 孝宏



ルールのある意味

副校長 太田 理絵

落ち葉が舞い散り、冬の到来を身近に感じる頃となりました。早いものでカレンダーも残り1枚となり、師走を迎えます。

10月・11月と校外に出ることが多かった名瀬っ子。1年生は里山、2年生は金沢動物園、3年生は戸塚区児童音楽会、4年生は上郷宿泊体験学習、5年生はふれあいコンサート、6年生は日光修学旅行と心の劇場。どの学年もお天気に恵まれ、たくさん学び、楽しい時を過ごすことができました。

4年生は初めての宿泊体験学習になります。上郷森の家の退所式で、森の家の方(通称どんぐりおじさん)が4年生に向けてお話しして下さったことがとても印象的でした。

名瀬小の皆さんが泊まった部屋を見ましたが、とても綺麗になっていて嬉しかったです。この後、部屋を掃除するスタッフが部屋を見て「名瀬小のみんな、こんなにきれいにしてくれてありがとう!」って思いながら掃除をするはずです。皆さんが森の家のルールを守って過ごしてくれたので、スタッフも「ありがとう」という気持ちになるのですよ。世の中にはたくさんのルールがあって、「どうしてこのルールあるのだろう?」って考えることもあると思いますが、『ルールがある』ということは、その裏側に温かい気持ちになる人がいるのだということを忘れないでください。2日間、こちらこそありがとうございました!

森の散策では、森林インストラクターの方々との約束をきちんと守って行動し、横浜市市民防災センターでは、説明して下さるスタッフの方の話を真剣に聞いて、見学・体験を行うことができた4年生。関わって下さった皆さんに「約束を守って散策してくれてうれしいです」「話を真剣に聞いて、約束を守って体験してとても立派ですね」と褒めていただきました。また5年生は初めて公共交通機関を使っただけの校外学習でしたが、東戸塚駅のホームで電車を待っているときや電車内、目的地まできちんと整列して歩いている態度はとても立派でした。4年生も5年生も周りの状況や、その場のルールをきちんと理解して行動できたのだと思います。

『ルール』は世の中たくさんあります。もちろん学校にもルールがありますが、なぜそのルールがあるのか、そのルールを守るとどんないいことあるのか、自分自身で考えて実行することは、とても大切だと思います。「禁止だから」「大人に言われたから」ではなく、そのルールを守るとみんなが笑顔になる!名瀬っ子の頼もしい姿をたくさん見ることができ、私もとても嬉しい気持ちになりました。

余談ですが・・・横浜市市民防災センターで、放水体験を教えてくださいました消防士の方が「僕は名瀬小の卒業生です!」と、校歌の一節を歌って下さり、4年生はびっくり!「先輩だー」と大喜びでした。色々なところで見守られている名瀬っ子です。